

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : アブラッシュ
会社名 : 株式会社 S I エコテック
住所 : 東京都台東区千束三丁目20番18号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分5
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1(呼吸器)

環境に対する有害性

水生環境有害性物質・急性 : 区分3

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
臓器の障害(呼吸器)
水生生物に有害

注意書き

安全対策

: 他の容器に移し替えないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱後はよく手を洗うこと。
(製造者、供給者又は規制所管官庁が指定する) 保護手袋、衣類
保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉塵又はミスト、蒸気を吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
必要な時以外は、環境への放出を避けること。
応急措置 : 皮膚又は毛髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて
脱ぎ、又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類は再使用する前に必ず洗濯すること。
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸し
やすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その
後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

: 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物、容器は、国際、国、都道府県知事又は市町村の許可を受け
た専門の廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

: 製品使用前に安全注意を読み、すべての内容を理解するまで取り扱わないこと。
 酸性溶液との混合で中和熱を発生する。
 金属類（アルミニウム、銅、合金類）と反応する。
 眼に入った場合は激しい痛みを感じ、直ぐに洗い流さないと角膜が侵される。手当てが遅れたり、処置が適当でないと視力が下がったり、失明する可能性がある。
 長期にわたって皮膚に接触すると、刺激により皮膚炎、湿疹を起こす。ミストを吸入すると気道粘膜を刺激し、シワガレ声、咽頭部の灼熱感、疼痛、激しい咳、肺浮腫を生ずる。誤って飲み込んだ場合、口腔、食道、胃部の灼熱、疼痛、まれに食道、胃に穿孔を生ずることがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : 水酸化ナトリウム、キレート剤、界面活性剤
 成分及び含有量 :

成分	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
水酸化ナトリウム	<5	化審法 (1)-410	1310-73-2
キレート剤	非公開	既存	非公開
界面活性剤	非公開	既存	非公開

4. 応急措置

吸入した場合 : 咳が出る程度の際は、新鮮な空気の風通しのよい場所で体を楽にして休息させる。
 重症の場合、直ちに医師の診察を受け、その指示に従う。

皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水で洗い流すこと。
 衣類に付着した場合、直ちに汚染された衣類を脱ぐこと。
 異常がある場合は医師の診断を受けること。

目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し（コンタクトレンズを着用している容易に外せる場合は外し）、医師の診断を受けること。
 眼球を傷つける可能性があるため、眼をこすったり固く閉じさせてはならない。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、多量の水又は牛乳、生卵を飲ませる。
 無理に吐かせず、速やかに医師の診断を受けること。
 （意識のない場合は口から何も与えない）

応急措置をする者の保護 : 救助者が有害物に接触しないよう、保護具（ゴム手袋、ゴム長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火器、泡消火器、二酸化炭素、水、砂
 使ってはならない消火剤 : 特になし

火災時の特有な危険有害性 : この製品自体は燃焼しない。
 消火作業の際にはガスを吸入しないように注意する。

特有の消火方法 : 周辺火災の処置は次による。
 容器を安全な場所へ移動する。
 移動不可能な場合は、容器及び周辺に注水して冷却する。

消火を行う者の保護 : 保護具（ゴム手袋、長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置 : 保護具（ゴム手袋、長靴、防毒マスク、眼鏡等）を着用する。

環境に対する注意事項 : 多量に漏れた場合は、河川等に直接排出されないように、回収、詰め替え、必要に応じて酸（希塩酸、希硫酸等）での中和措置を講じる。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : 土砂等で流出防止用の堤防を作り、空容器に回収するか又は土砂等に吸収させてから容器を回収する。できるだけ取り除いた後漏出した場所は大量の水で洗い流す。
 少量の場合は、吸着剤（おがくず、土砂、ウエス等）で吸着させて取り除いた後、残りをウエス等でよく拭き取る。
 濃厚な廃液が下水道、河川等へ流入しないよう注意する。

二次災害の防止策 : 住民、交通機関等に影響を及ぼす可能性のある場合、関係官庁へ通報するとともに周辺地域の住民に直ちに警告し、危険地域から避難させる。
 排水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 局所排気及び全体排気設備を設置する。
保護具 (ゴム手袋、長靴、防毒マスク、眼鏡等) を着用する。
- 安全取扱い注意事項 : アルカリ性を示すため、酸との接触、混合を避ける。
粉塵又はミスト、蒸気を吸入しないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
皮膚、眼への接触を避ける。
取扱後はよく手を洗うこと。

保管

- 適切な保管条件 : 密閉し、直射日光を避けて冷暗所に保管する。
酸性物質の混入を避けて保管する。
金属類 (アルミニウム、銅、合金類) から離して保管する。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。(樹脂製)
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度、許容濃度 : 設定されていない。
- 設備対策 : 局所排気及び全体排気設備を設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 必要に応じてマスクを着用。
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋 (ゴム製) を着用する。
- 眼の保護具 : 安全ゴーグル (眼鏡) もしくは顔面シールドを着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性保護衣、ゴム長靴、ゴム前掛を着用する。
-

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 物理的性質 : 透明な液体
- 色 : 黄褐色
- 臭い : わずかな特異臭
- pH (25°C) : 12.2±0.2 (100倍希釈)
- 比重 (25°C) : 1.10±0.05
- 溶解性 : 水に任意に溶解
-

10. 安定性及び反応性

- 危険有害反応可能性 : 自己反応性及び爆発性なし
- 避けるべき条件 : 酸との接触または熱を避ける。
- 混触危険物質 : 酸との接触や混合により、中和熱を発生する。
アルミニウム、銅および合金を腐食する。
-

11. 有害性情報

- * 製品の有害性データを有しないため、主成分である水酸化ナトリウムのデータを以下に記載する。

- 急性毒性 (経口) : 情報なし
(製品としては、計算上、ラット LD50 2,000mg/kgを上回るため区分5とした)
- 皮膚腐食性/刺激性 : 腐食性があり、皮膚、眼、粘膜を激しく刺激する。
ヒト皮膚に対して0.5%以上で刺激、重度の腐食を引き起こす報告あり。
- 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 眼に入ると結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明することがある。
ウサギ 眼 1mg/24H Severe
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 情報なし
- 生殖細胞変異原性 : Ames試験 陰性
- 発がん性 : 情報なし
- 生殖毒性 : 情報なし
- 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) : ヒト呼吸器、気道を刺激し肺浮腫を引き起こすとの報告あり。
- 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) : 情報なし

1 2. 環境影響情報

* 製品の有害性データを有しないため、主成分である水酸化ナトリウムのデータを以下に記載する。

生態毒性	
水生環境急性有害性	: 水生生物に有害 甲殻類(ホケミジンコ) LC50=40.4mg/L (48H)
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壤中の移動度	: 情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 水で希釈し、必要に応じて酸（希塩酸、希硫酸等）で中和した上で廃棄する。 （水質汚濁防止法及び下水道関連法令の基準に注意）
汚染容器および包装	: 空の汚染容器を廃棄する場合、内容物を除去した後、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

IMDG（国際海上危険物規則）コード

国連番号	: 1824
国連輸送名	: SODIUM HYDROXIDE SOLUTION
国連分類	: 8
容器等級	: II/III
海洋汚染物質	: 非該当

ICAO-TI（国際民間航空期間技術指針）／IATA-DGR（国際航空運送協会危険物規則）

国連番号	: 1824
国連輸送名	: SODIUM HYDROXIDE SOLUTION
国連分類	: 8
容器等級	: II/III

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法に従う。
（危険物船舶運送及び貯蔵規則、第2,3条危険物告示別表第1 腐食性物質）

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
（施行規則第194条危険物告示別表第1 腐食性物質）

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

: 直射日光を避け、容器の破損等のないように積載し、荷崩れ防止を確実に行うこと。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

1 5. 適用法令

化学物質管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 法第57条の2（名称等を通知すべき有害物）
毒物及び劇物取締法	: 該当しない（水酸化ナトリウム含有量が5%未満のため）
水質汚濁防止法	: 法第2条の4、施行令第3条の3（指定物質）
港則法	: 施行規則第12条 危険物（腐食性物質）

1 6. その他の情報

引用文献

- ・化学物質等安全データシート（MSDS）第1部：内容及び項目の順序（JIS Z7250:2005）
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）
化学物質総合情報提供システム（CHRIP）
- ・日本化学会編 化学防災指針7 丸善（1980）
- ・化学工業日報社編 化学品安全管理データブック（1988）
- ・原料MSDS

記載内容の取扱いについて

本製品安全データシート（MSDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
また、MSDS中の注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。
製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品をご使用ください。
また、当社は、MSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。